

# 視聴覚教育

NO 170

発行日  
3. 2. 1

発行  
岡崎市AVL  
編集

広報委員会

## 視聴覚機器保有調査報告

— 視聴覚部機材委員会 —

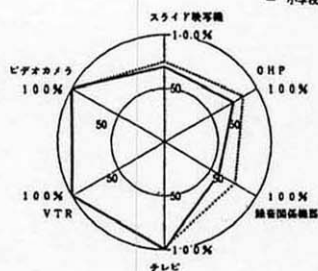
緑丘小学校 加藤 尚

視聴覚部機材委員会では、平成二年七月末に、各学校の視聴覚機器保有状況を調査した。調査内容は、A機器保有状況、B使用頻度の高い機器、C今後の充実を希望する機器の三項目である。詳細は、年度末に刊行される「岡崎の視聴覚教育」第二十二号に掲載するが、ここでは、その概略を述べる。

A 機器保有状況（機器保有率）  
ア、小中学校を通じていえることは、テレビ、VTR、ビデオカメラの充足度が一〇〇%近くなっていることである。

イ、録音関係機器（ラジオカセットレコーダー）は使用頻度の最も高い機器の一つであるが、充足度は高いとはいえない。

教育機器保有率



B 使用頻度の高い機器  
ア、使用頻度の高い機器は、OHP、VTR、録音機である。これらは、充実したい機器の中でも多くの学校があげたことからわかるように、授業において必要性が高いことを示している。

イ、教材提示装置やビデオフロッピーなどといった最新の機器も、その特性を生かして活用されている。

C 今後充実したい機器（アンケートの集計より）  
ア、最も多いのは、VTRである。内訳をみると、従来の据え置き型やポータブル型だけでなく、機動性を重視して8ミリビデオやカメラ一体型のVTRを希望する学校が増えてきている。

イ、ビデオカメラ、教材提示装置といった、VTRやテレビに付随する機器を希望する学校が多く、自作の教材や校内放送の充実を目指していることがうかがえる。ウ、目新しいところでは、CDプレーヤーやビデオフロッピーといった機器を希望する学校が増えてきている。

充実したい機器	小学校	中学校	合計
VTR	12	12	24
ビデオカメラ	14	6	20
教材提示装置	16	4	20
録音機	9	7	16
TV	11	4	15
ビデオフロッピー	10	4	14
パソコン	9	3	12
OHP	6	1	7
CDプレーヤー	5		5
ワープロ	4		4

使用頻度高い機器	小学校	中学校	合計
OHP	31	11	42
VTR	40	16	56
録音機	27	10	37
TV	29	3	32
教材提示装置	7	4	11
スライド	3	1	4
ビデオカメラ	3	1	4
CDプレーヤー	2		2
ステレオ	2		2
ビデオフロッピー		1	1

# 自ら考え、問題解決のできる子の

## 育成をめざして

全国教育研究集会 正会員

連尺小学校 八田 敏公

一月二十三日から二十六日に東京で開催された全国教研に出席し、映像とパソコンの融合を通して、自ら考え、問題解決のできる子の育成をめざした研究報告をした。

まず、一人ひとりが学習できる場を作ること、自ら考え、問題解決のできる子の育成がなると考えた。その手立てとして、視聴覚メディアとパソコンのそれぞれの長所を生かし、課題別探究学習の中に位置付け、児童自らが学習課題を持ち、問題解決をしていくように考えた。また、映像とパソコンを容易に組み合わせたシステムの構築と活用も図った。このような構想を元に、一年社会「きんじよのこうえん」の実践と考察について発表し、様々な質疑を受け、有意義な話し合いができた。

さらに、発表には、ビデオフロッピーを活用し、内容を要約した文字や写真を静止画として映し、発表方法にも視聴覚らしく工夫してみた。

このような発表や質疑の中で、岡崎の充実ぶりを感じつつ、他の地区の様々な実践や先進的な研究に驚かされ、今後、少しでも、この経験を生かし、研究を深めていきたい。



# ライブラリーだより

☆平成二年度制作自作ビデオ・8ミリ映画紹介

「肉牛を育てる」

ビデオ作品 13分13秒 対象 小5 社会科

「にもつの旅」

ビデオ作品 11分47秒 対象 小5 社会科

「生活を守るために―岡崎国一の問題から―」

ビデオ作品 10分48秒 対象 中3 理科

「松くい虫を追って」

ビデオ作品 13分40秒 対象 中3 理科

「生きがいを求めて」

ビデオ作品 11分28秒 対象 一般 社会教育

「HELLO! AET」

ビデオ作品 12分10秒 対象 中2 英語

「三河万歳」

8ミリ作品 7分05秒 対象 一般 社会教育

●ダビングの依頼はライブラリーまで

☆八田敏公先生（連尺小）愛知県教育論文入賞！

テーマ「個別化をめざすAVとパソコンの融合」

☆購入機器紹介

●S-VHS編集装置

ライブラリーへ新たにS-

VHS編集装置が加わりました。たいへん扱いやすく

素晴らしい機器です。

